

「大地震に遭遇したら、片瀬山住民はどう行動すればよいか」その2

揺れが収まり被災の状況により、対応が変わります！

29号で大地震に遭遇した時と、揺れが収まった後の行動について確認しました。30号では、**自宅の状況を確認し、被災の程度でどう行動したらよいか確認します。**再び、防災ナビ「オーダーメイドの災害対応」を見てみよう。



片瀬山防災会

自宅の状況を確認して次のステップへ

自宅での生活が
困難な場合は

ステップ
11 へ

自宅が無事な
場合は

ステップ
14 へ

避難施設での生活
が困難な場合は

ステップ
13 へ

自宅の全・半壊など、また室内に家具やガラスが散乱し、家の中で生活できない人や

また、災害への不安で家の中に居ることが不安な人が避難施設へ移動し、しばらくの間、生活します

ステップ 11 避難施設への避難

自宅が被災し、生活が困難な場合は、避難施設に避難します。

避難する際は、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

避難施設ごとにペット

などのルールが決まっています。事前に確認しておきましょう。

自宅が無事な場合は、無理に避難する必要はありませんが、食料や生活物資が不足したときは、避難施設で受け取るようになりますので、避難施設で在宅被災者の登録をしましょう。

「避難施設」はどこだろう？

(**片瀬中学校**)
マップの「避難施設」に
印をつけよう。

ステップ13 福祉避難所

高齢者や障がい者などで避難所での生活が困難な人は、福祉避難所へ避難します。

福祉避難所は、市民センター・公民館に開設されます。

片瀬市民センター

ステップ14

在宅被災者（在宅避難）

防災備蓄品を使い、自宅で生活を続けます。自治会から避難施設に「在宅被災者」として登録、定期的に避難施設に行き、食料・物資の受取り、情報を収集しましょう。

ステップ15 みんなで助け合う（共助）

被災後は、お互いの助け合いが大事。自宅や家族、自分自身が無事な場合は避難施設などのボランティア活動など、みんなで助け合いましょう。

「大地震に遭遇したら、片瀬山住民はどう行動すればよいのか」



地震が起きる前に 事前の備え

地震が起きたらどうすべきかをかんがえておきましょう。
家具の固定、耐震工事、防災備蓄品（水・食料・防災用品等）の準備
感震ブレーカーの設置なども大切です。

緊急地震速報がでたら

緊急地震速報は、ラジオFM83.1・テレビ・携帯電話・防災無線で！
直ちに「身の安全」を確保します。

実際に揺れを感じたら 自分の命は自分で守る

「身の安全」を確保 背の高い家具や窓ガラスから離れ、落下物
ないところで「頭を保護」する。



揺れが収まったら

火の始末と出口の確保

揺れの途中で、火に近づかない。ドアや窓を開けて、出口を確保。

自宅の中の状況確認

落下物やガラスの破片などで足を怪我しないように、室内でも、靴や
スリッパを使用。

一時避難場所へ集合（自治会で決めた一時避難場所へ）

- 片瀬山一丁目・二丁目 → 片瀬山北公園
- 片瀬山三丁目 → 片瀬山東公園
- 片瀬山四丁目 → 片瀬山西公園
- 片瀬山五丁目 → 片瀬山南公園

自宅の状況を確認して被災後の生活へ

1 ページを参照 在宅避難・避難避難施設等へ

自宅のブレーカー切断、ガスの元栓 締め確認

自治会指定の安否状況表示をします
（タオル等）

一時避難場所では、それぞれの自治
会が住民の安否確認を進めていま
す。

ふじさわ防災ナビ

防災ナビリーフレット

津波ハザードマップ



左記のほか、
揺れやすさマップ
液状化危険度マップ
地域危険度マップ
土砂洪水ハザードマ
ップ
片瀬地区防災マップ
などがあります。

編集後記：29号・30号で大地震に遭遇した場合の、行
動について考えてみました。藤沢市では、防災ナビのほ
かに、各種のハザードマップを作成しています。市民セ
ンターなどで入手し、自宅がどういった環境にあるのか
確認することも大切だと痛感しました。(w)



発行： 片瀬山防災会

発行責任者：会長(若月)

編集責任者：広報グループ